

科目名	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）
開設学校名	岐阜大学
講師	工学部 大谷 具幸 准教授 他
初回予定日	2017年4月11日
授業時間	毎週火曜日 4時限目 14時45分開始 16時15分終了
主会場	岐阜大学 柳戸キャンパス 全学共通教育棟 1C教室
聴講方法	対面授業
科目内容	岐阜県には、日本の縮図とも呼ぶべき地質や活断層、水環境がある。地質では日本最古の石、日本最古の地層があり、活断層では1891年濃尾地震のときに動いた根尾谷断層が世界に紹介され、その後の地震の理解に大きく貢献した。水環境では、清流長良川などの源流から河口までがあり、地下水に恵まれた地域でもある。これらの豊かな自然について理解を深めるとともに、私たちの身近に潜んでいる問題点を学ぶ。
注意事項	<p>学年暦で7月18日（火）は授業が行われません。</p> <p>講義は全11回であり、残りは博物館実習を行う。講義で紹介する博物館の中から1ヶ所を選んで、見学を行い、レポートを作成する。なお、見学する経費と保険は自己負担。</p> <p>高校生は受講できません。</p> <p>【参考文献】</p> <p>みのひだ地質99選／小井土 由光 岐阜新聞社 2011 978-4877971670</p> <p>ひだ・みの活断層を訪ねて／岐阜県活断層研究会 岐阜新聞社 2008 978-4877971267</p> <p>濃尾平野の地盤—沖積層を中心に（ジオテクノート）／地盤工学会「濃尾平野の地盤—沖積層を中心に」編集委員会 地盤工学会 2006 978-4886442154</p>

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
第1回	4月11日	1. はじめに（担当：大谷）
第2回	4月18日	2. 地質：岐阜県は日本列島の縮図—20億年前の石ころから最近の地層まで（担当：大谷）
第3回	4月25日	3. 地質：岐阜に眠る地下資源（担当：大谷）
第4回	5月2日	4. 活断層：1891年濃尾地震と根尾谷断層—そのとき何が起きたのか（担当：大谷）
第5回	5月9日	5. 地質：岐阜の活火山（担当：大谷）
第6回	5月16日	6. 地質・活断層と水環境：濃尾平野の形成（担当：大谷）
第7回	5月23日	7. 水環境：木曽川水系における流域の空間構造—木曽三川流域の構成要素（担当：篠田）
第8回	5月30日	8. 水環境：温暖化・気候変動と流域内水収支—洪水・濁水に及ぼす影響（担当：篠田）
第9回	6月6日	9. 水環境：人間活動と流域内水環境—河川水質に及ぼす影響（担当：篠田）

第 10 回	6 月 13 日	10. 水環境：濃尾平野の地下水と地盤沈下（担当：神谷）
第 11 回	6 月 20 日	11. 水環境：岐阜県における地下水の役割（担当：神谷）
第 12 回 第 13 回 第 14 回	(6 月 27 日) (7 月 4 日) (7 月 11 日)	12～14. 博物館実習（3 回分の授業に相当） 教員が提示した複数の自然系博物館の中から、受講生がどれか 1 つを選び、各自で博物館を見学して、その内容をレポートにまとめて報告する
第 15 回	7 月 25 日	15. 総まとめ授業、及び理解度認定